

# 令和6年度 学校経営方針

## 「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」の育成

私たちは、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、「ふるさと寺津」に誇りをもち、自分の未来を切り拓いていく児童の育成を目指していきます。

そのために学校・家庭・地域との連携・協働を進め、「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」を育てることを目標に教育活動を進めていきます。

その中で、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

《目指す子供の姿》 ※合言葉として、「自律」

- ・「ふるさと寺津」に愛着をもち、「寺津のひと・もの・こと」に、はたらきかける子供
- ・自らの課題に気づき、友達とのかかわりを通じて「学びを深める」子供

《重点努力目標》 ※合言葉として、「ティーチングからコーチングへ」

「自主」はたし算、「協同」はかけ算 を合言葉に、全職員で教育活動を推進します。

### 1 「主体的で対話的で探究的な学び」を進めます。

主体的とは：興味・関心を広げチャレンジする

対話的とは：多様なものの見方、考え方を理解し、共有する

探究的とは：活用し、次の学習につなげ、役立てる

- ・子供の思い・考えを大切に「子供自身が問題解決に取り組める単元」の構想
- ・寺津のひと・もの・ことを活かした「ふるさと単元(地域を学ぶ学習・地域で学ぶ学習)」の展開
- ・目的を明確にした、子供の「心」に響く学校行事の充実(運動会、学習発表会等)

### 2 「家庭・地域との連携・協働」を進めます。

- ・地域の社会教育関係団体と「育てたい子供の姿」を共通理解した活動の推進

※「寺津校区登校見守り隊」、「コミュニティカレンダー発行」等の活動推進

- ・PTAと連携し、学校支援・家庭教育力の向上を目指した取組の充実(PTA活動の精選)
- ・学校評価や保護者との関係づくりを通して、学校教育への理解促進・協力体制の構築

### 3 「学校における働き方改革」を進めます。

- ・「愛知県教員育成指標」を基にした教員一人一人の目標の明確化
- ・「チームとしての学校」の取組の推進
- ・地域との連携を重視・強化するための、学校が担う業務の明確化・適正化

学校・家庭・地域との連携・協働

## 「ふるさと寺津」を創造する「寺津っ子」の育成

寺津小学校では、子供の思い・考えを大切にした「子供自身が問題解決に取り組める単元」と、寺津のひと・もの・ことを活かした「ふるさと単元(地域を学ぶ学習・地域で学ぶ学習)」の取り組みに力を入れています。

2つの取り組みから以下に示す子供の姿を目指しています。

- ・ 「ふるさと寺津」に愛着をもち、「寺津のひと・もの・こと」に、働きかける子供
- ・ 自分の問題を発見し、友達とのかかわりを通じて「学びを深める」子供

### <令和5年度 各学年の活動の様子>

#### <1年生>



##### 新入生体験入学「安心して、寺小に来てね！」

新入生のために、安心して楽しみに寺小に来てほしいという願いのもと、いろいろなお店を考えました。お兄さんお姉さんとして優しく接することができました。

#### <2年生>



##### 「めざせ！野菜博士」

町の野菜博士から、野菜の育て方を教えていただき、自分たちも野菜博士を目指しました。夏野菜、サツマイモ、冬野菜の栽培、収穫を通し、命をいただく大切さと喜びを知ることができました。

#### <3年生>



##### 「寺津のじまん広め隊！わたしたちの町のすてきなお店」

校区にあるお店を訪問しました。人気の商品を見せてもらったり、お店の人に質問をしたりしました。お店のすてきなところをいっぱい見つけました。

#### <4年生>



##### 「みんながくらしやすい町に」

車いす、点字、手話の体験をしたり、高齢者の認知症について学んだりしました。「ともに生きる」ということについてみんなで考えました。

#### <5年生>



##### 「寺津の町のお米作り」

農家の渡辺重利さん、森田信一さんをはじめ、長寿会やJAの方々の協力をいただき、田植えや稲刈りなどお米作りの体験に取り組みました。

#### <きらめき>



##### 「特別支援学級発表会」

この一年間で学んだことや自分の得意なこと、好きなことについて、それぞれ発表をしました。中学生も来てくれ、一緒にゲームで楽しみました。